全国小学校英語教育実践研究会 令和２年度「わたしの英語教育実践」	６年　外国語科　（７月） Junior Sunshine 6 Lesson 4 Welcome to Japan. 第６時／７時間扱
②教科書を活用した授業づくりの工夫（高学年）	鳥栖市立鳥栖小学校　外国語専科　梅﨑 雄輝

日本の魅力を英語で紹介しよう！･･･書く活動を取り入れた単元構成の工夫

日本の魅力を英語でカードに書き、それを ALT に向けて紹介する学習。社会科や総合的な学習の時間等との関連を持たせながら、日本の魅力を紹介することで、改めて自国のよさに気付く活動となる。６年生になって初めての「書くこと」の単元であるため、スモールステップでカードを完成させる。

【完成までのステップ】

1．Normal Course（ノーマルコース）《図①》と Professional Course（プロフェッショナルコース）《図②》のどちらか書きたい方を選ぶ。Normal Course は英語３文、 Professional Course は５文である。自分のレベルに合わせて選ぶことができる。（ワークシートは裏表印刷。）

2．例文をもとにワークシートにおすすめのものを書く。
穴埋めになっているので、必要な箇所のみ記入する。

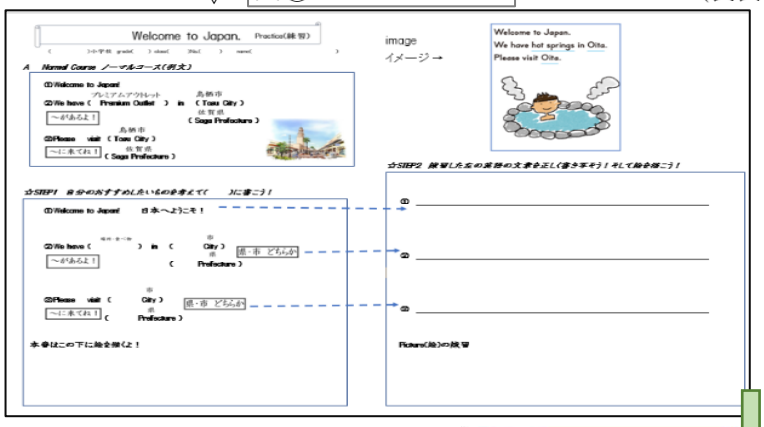
3．２で書いたものをそのまま、一文ずつ丁寧に視写する。

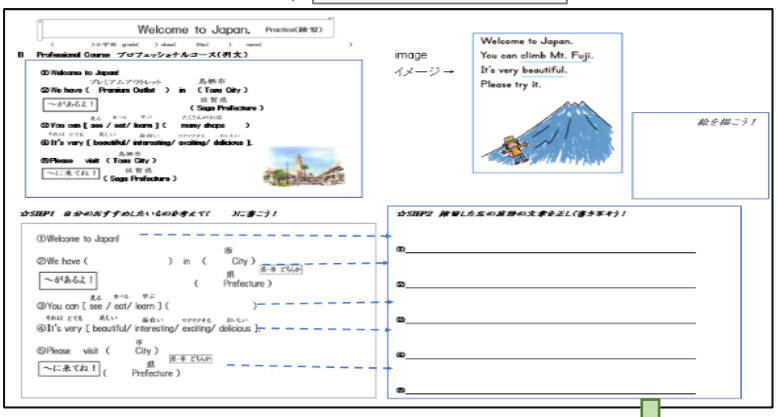
4．正しく書けているかを、友達及び教師にチェックしてもらう。

5．清書のカードに書き写し、絵を描いて完成。

「自分が言いたいことを英語でこんなに書けた！」と児童自身が全員自信をもてるように活動に取り組ませています。なお、「書くこと」は毎時間、帯活動としてノートにアルファベットの文字や簡単な単語を書き写す時間を５分程度設けています。

▽ 図①Normal Course　（裏表印刷）　▽ 図②Professional Course





△図③完成したものは全員分、学年掲示板に飾ることで、全校児童や職員、保護者の目に触れるようにする。

高学年に外国語科が導入されたことで、外国語教育の初期段階で「読むこと」「書くこと」について、時間をかけ、細かなステップを踏んで子供が学習できるようになったことがメリットとして挙げられます。外国語活動でアルファベットの文字に慣れ親しませたうえで、高学年外国語科ではアルファベットの文字を読んだり、四線上に書いたり、文字が認識できるようするとともに、文字の音に慣れ親しませます。そして、梅﨑教諭の実践のように、子供が、毎時間何度も聞いたり話したりした表現(音声と意味が十分に結び付いている)を一文ずつ書き写したり、例文を参考に自分の考えや気持ちなどを書いたりして、「単語」をひと固まりとして認識し、単語と単語の間にスペースを置くことなどを理解し、「読むこと」「書くこと」の基礎の力やその意欲を高め、中学校英語科につないでいくことが大切です。そう考えると、上記掲載ワークシート「Step 1/2」では、四線上に書き写させるとより良いでしょう、また、日本語で意味を補わなくてもよいかも知れませんね。（文科省　直山　木綿子）